

かきまじやき

中央区教育広報誌

No. 127

ホームページ

<http://www.city.chuo.lg.jp/kyouikuiinkai>



平成24年7月14日 銀座プロッサム・ホールにて

「中央区子ども環境サミット」は、未来を担う子どもたちの環境教育の充実を目指し、教育委員会と区が共催して行ったものです。

2012年は、7月14日(土)銀座プロッサムで、区立中学校4校と日本橋女学館中学校の2年生全員を対象とする授業の一環として開催しました。

第一部では、JAXAの高橋陪夫先生より「宇宙から見える地球とその環境」について、国立極地研究所の本吉洋一先生からは「極地から見た地球環境」についてそれぞれ「環境」に関する特別授業を行っていただきました。

第二部では、「環境」をテーマに、各中学校が行った研究の成果とメッセージを代表生徒が発表しました。

第三部では、各校が、今回の環境学習はもとより、日頃より積極的に地域活動に取り組んでいることに対し、矢田区長より感謝状が、永嶋教育委員長から記念品(掲出用の各校メッセージ額)が全中学校に贈呈されました。

ファイナレは、研究発表に携わった生徒が舞台上に整列し、この日一番の拍手を受けて閉幕しました。

明正小学校・幼稚園で校舎お別れ会が行われました

平成26年7月の新校舎完成を目指し、明正小学校・幼稚園は本年の秋から改築工事に着手します。そこで、7月7日(土)に、全児童・園児と保護者や地域、学校関係者が一堂に会して校舎お別れ会が行われました。

第1部では、はじめに、校舎長先生から明正小学校・幼稚園の歴史や、新しく生まれ変わる校舎の話があり、児童と園児は期待に胸を膨らませていました。

続いて、「明正の歩んできた道」と題するスライドの鑑賞後に、各学年代表児童による明正小学校の「思い出の場所」の発表がありました。子どもたちにとっての思い出の場所は、イチヨウの木や雲梯のほか、校舎内の階段など様々でした。その後、児童全員による「お別れのこぼれ」、さらに、参加者全員で校歌を斉唱して第1部が閉会となりました。

第2部では、元PTA会長さんたちが当時の思い出を語られました。児童数の減少による学校存続の危機を迎えた時期など、現在では想像もつかない時代の話を、子どもたちは真剣に聞き入っていました。

その後、会場を校庭に移してのマーチングパレードでは、5・6年生がマーチングバンドの隊形変化にあわせて、見事な演奏を披露していました。

最後は、85年にわたって地域に支えられ親しまれてきた校舎への感謝と新校舎への期待を胸に、参加者全員で明正音頭の輪をつくり、お別れ会のフィナーレとなりました。



お別れ会当日の校舎正面玄関



講堂でのお別れ会



明正音頭の輪

親子で楽しむ絵本講座と絵本講演会

図書館では、読書活動の推進のため、様々な事業を行っています。

10月には「親子で楽しむ絵本講座」として、親子を対象に2回にわけて講座を開催します。12月には、絵本作家の山口マオ先生を招き、「絵本講演会」を開催する予定です。

親子で楽しむ絵本講座

【日時】10月17日(水)・24日(水)予定 午後3時～
【講師】植田たい子 【会場】日本橋図書館ホール

【内容】絵本の選び方や、読み聞かせについて 【定員】各親子35組
◎詳細については、「区のおしらせ 中央」に掲載いたしますのでご覧ください。

親子で楽しむ絵本講演会

【日時】12月1日(土)予定 午後2時～4時
【講師】山口マオ 【会場】日本橋図書館ホール

【内容】親子で楽しむおはなし会「わにわにのひみつ」 【定員】80名
◎詳細については、「区のおしらせ 中央」に掲載いたしますのでご覧ください。

問合せ先 日本橋図書館 ☎(3669)6207



小風さち/文 山口マオ/絵 ©福音館書店

“信濃移動教室から環境を考える”

～姨捨棚田の田植え体験を通して～

晴海中学校からのメッセージ

姨捨棚田で私たちは自然を肌で感じ、人間のはたらきを体で感じ、人と自然とが織りなすすばらしい景色に浸りました。文化遺産「姨捨棚田(田毎の月)」は、長い年月をかけて幾世代もの人たちによって生み出されたもので、今多くの人々のつながりの中で守られていること、そのつながりの中に私たちも加わり、貢献できたことを知りました。

「塵も積もれば宝の山となる」「一人の力も集まれば大きな力となる」そうするために、正しい知識と知恵を身に付けていきます。自然と人、人と人とのよい関係を作り上げていく努力を、身近な一歩から始め、続け、広げていきます。Live Together Make A Community. これが姨捨棚田で学んだ私たちのメッセージです。



田植えの様子

信濃移動教室では、八島ヶ原湿原や文化遺産である姨捨棚田などで、自然と人が適切な距離を保つことで共生できることを体感しました。また、生徒会を中心とするエコキャップ運動やCO₂削減の取り組みから「塵も積もれば山となる」ことを改めて実感しました。関わり、つながった人はもう見知らぬ人ではありません。晴海中の教育理念「共生」を再認識しました。

“環境にやさしい学校づくり”

中央区における未来の日本橋中学校の役割を考えよう

日本橋中学校からのメッセージ

現在、環境破壊や地球温暖化、それに伴う生物の絶滅や海面上昇、異常気象など、地球環境に関する様々な問題が取り上げられています。

今回の学習を通して、私たちは、技術の発達によって便利になりすぎた生活が環境に悪影響を及ぼしていることに気が付きました。私たちは地球の環境を考え、生活を見直さなければなりません。私たちがうたいたいことは、以下の2つです。

- 1 今あるものを活かし、快適に過ごす工夫をする。
- 2 電気をこまめに消すなどの日常的な取り組みを大切に

東日本大震災以降、エネルギーのあり方が問われています。エネルギーや資源を大切に快適に過ごす工夫をしましょう。



節電メッセージ

大林組技術研究所で最先端のまちづくりや環境への取り組みを学びました。太陽光や風、地中熱などを活用することで環境にやさしいまちづくりができます。自然エネルギーの活用や自然や生き物と共生した学校づくりに向け日本橋中エコプロジェクトを継続・発展させるとともに、私たち自身も高い意識を持つて取り組みを広められる人になりたいです。

“アサクサノリの今と昔、そして未来”

日本橋女学館中学校からのメッセージ

アサクサノリのことを知らない人は多いと思うので、もっと多くの人たちにアサクサノリや絶滅危惧種について知ってもらい、同時に環境について考えていくことが大切だと思います。

そして、自分たちが思っている以上に環境破壊が進んでいることを他人事だと思わずしっかり受け止めなければいけません。

また、私たち人間の手で壊してしまったアサクサノリの生育環境は、私たち人間に復元する義務があると思います。この地球は私たち人間だけのためにあるものではありません。他の生物も一緒に住んでいます。他の生物がいるからこそ私たち人間が生きていけるのです。これからの課題は、他の生物と共存できる未来を私たちの手でつくっていくことだと思いました。



アサクサノリ

江戸時代、周辺の海では、アサクサノリの養殖が盛んでした。しかし、養殖しやすい種類のノリの導入により、アサクサノリは絶滅危惧種となりました。身近なノリの研究から、種が絶滅すると、人間が手を加えない限り、再び自然界に戻ることは難しいことを学びました。他の生物と共生する未来は、私たちの手でつくっていくことだと思います。

中央区子ども環境サミット2012

宇宙や極地での環境に関する特別授業

「極地から見た地球環境」

〈講師〉
国立極地研究所教授
副所長
本吉洋一先生



「宇宙から見える地球とその環境」

〈講師〉
JAXA地球観測研究センター
主任研究員
高橋陪夫先生



各学校の研究成果とメッセージ

“Think Globally, Act Locally”

～地球規模で考え、地域で活動を～

銀座中学校からのメッセージ

私たち銀座中学校2年生は、長野と東京の水質を比べてみて、東京の水質が悪いことを知り、少しでも生物に優しい水に変えようと思い、地域の方々に手作りした廃油石けんを使っていただくことにしました。多くの方がこの廃油石けんを使い、環境問題に協力していくことで、私たちの大切な水を皆で守っていくことができると思います。

また、この石けんを使うことを通じて、地球の環境は自分たちで守っていくのだということをいつも意識して、様々な環境を守る活動に取り組んでいくなれたら環境はもっと良くなっていくと思います。少しずつの努力を一人ひとりが心がけることで、私たちそれぞれの小さな力が大きな力に生まれ変わることが出来ます。この力を生み出すかどうかは私たち次第なのです。Think Globally, Act Locally!



廃油から石けんを作りました

「学習から行動へ」を軸に、まず隅田川や浜離宮、千曲川、稲倉棚田などの水を研究し、水を守ることに環境に大きく関わることを学びました。そこで、私たちができる廃油石けん作りと配布を行い、私たちの思いを訴えた中で、地域の方の意識の高まりが実感できました。これからは、水の環境学習から生物と共存できる環境作りに取り組みます。

“エコプロダクツ2011から見える私たちの暮らしと未来”

佃中学校からのメッセージ

21世紀…太陽と土と水と緑、そしてそこに生きるすべての生き物によって、自分は生かされているのだ、ということに気づいた私たちは、自らの知恵と科学技術によって、環境破壊を止め、地球上のあらゆる生き物と共存する道を歩み始めました。未来の中学生も夢と希望に満ちた毎日が送れるように、これからの私たちができること、それは次の3つのことを「続ける」ことだと考えます。

- 「学び続ける」…先人の知恵・歴史、社会や科学技術の基礎を学び続けます
- 「考え続ける」…地球の現状を知り、自分たちがなすべきことについて考え続けます
- 「行動し続ける」…自分たちができることを強い意志をもってやり続けます



企業へのインタビュー

環境展示会「エコプロダクツ2011」での企業インタビューから、多く企業で、多くの人が懸命にエコに取り組んでいることを知りました。中学生の私たちでも、できること・やるべきことはたくさんあります。「学び」「考え」「行動する」ことを「続ける」ことで、地球温暖化を防ぎ、豊かな地球環境を取り戻すことができるはずですよ。

新校・園舎が完成

中央小学校・幼稚園

明石小学校・幼稚園

中央小学校・幼稚園



校・園舎全景(小学校昇降口より)



屋上校庭(開閉式屋根で雨天時等でも利用可です)



3Fランチルーム
(異学年の交流給食も楽しめます)



4F図書室
(全面ガラス張りで開放的です)



屋内温水プール(水深調整可能な可動床です)

明石小学校・幼稚園



校・園舎全景(小学校正門より)



屋内体育館(地域の方も訪れやすい1F体育館)



屋上プール
(夏季以外は蓋をし、運動スペースになります)



教室前のオープンスペース
(多様な教育活動に活用できます)



3F図書室
(カウンターなどに多摩産材を活用しています)

明正小学校・幼稚園につきましては、平成26年夏の完成を目指して、8月の引越し後から順次、解体・改築工事に着手してまいります。この間は、中央小学校新校舎を仮校・園舎として使用いたします。同居する両校・園舎においては、それぞれの伝統と校風をいかにしながらも、協力し合って2年間の学校教育を行うてまいります。

改築工事に伴い、何かとご不便・ご迷惑をおかけすることも多いことかと存じますが、ご理解・ご協力の程よろしくお願い申し上げます。

平成22年秋から改築工事を進めていた両新校・園舎が完成し、8月20日に移転いたしました。改築工事期間中、近隣の皆さまには何かとご迷惑をおかけしましたにもかかわらず、多大なるご協力を賜り厚く御礼を申し上げます。また、改築に当たって保護者をはじめ学校関係者や地域の皆さまなどからいただいた温かなご理解・ご協力につきましても、あらためて心より感謝申し上げます。

二学期からは新しい建物で、元気がいっぱいに学び、遊ぶ子どもたちの姿が見られることとなります。なお一層のご支援をいただければ幸いです。

なお、8月3日(金)・4日(土)の新施設一般公開(見学会)には、2,997名の方がお越しになり、未来にわたり一段と誇りうる新校・園舎をご覧いただきました。

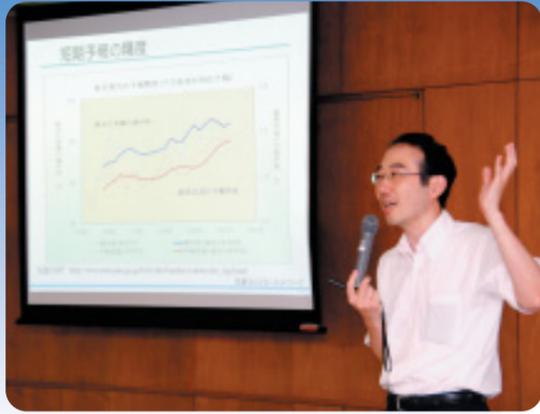
施設概要

項目		中央小学校・幼稚園	明石小学校・幼稚園	
1 建築概要	構造・規模	鉄筋コンクリート造 地上5階/地下1階	鉄筋コンクリート造 地上5階/地下1階	
	敷地面積	3,667㎡	5,194㎡	
	延床面積	12,203.24㎡	9,949.53㎡	
2 施設概要	1) 小学校	普通教室	12室(72㎡/室)	12室(73㎡/室)
		多目的室	1室(72㎡/室)	4室(78㎡/室)
		特別教室	図工室、音楽室、 理科室、家庭科室 (98㎡~112㎡)	図工室、音楽室、 理科室、家庭科室 (98㎡~101㎡)
		特別支援教室	—	3室(73~74㎡/室)
		図書室	173㎡	147㎡
		ランチルーム	115㎡	209㎡
		コンピューター室	62㎡	129㎡
		体育館	462㎡	502㎡
	2) 幼稚園	プール	25m×12m/6コース(屋内)	25m×10m/6コース(屋上)
		保育室	6室(68㎡/室)	7室(67~74㎡/室)
		延長保育室	—	1室(80㎡/室)
		遊戯室	136㎡	131㎡
		園庭	480㎡	小学校と共有
プール	6.5m×2.5m(屋内)	7m×4m(屋上)		
3 施設の特徴		<ul style="list-style-type: none"> ●開閉式屋根付きの屋上校庭は雨天時にも使用可能。 ●小幼とも屋内温水プール(小学校は、水深調整ができる可動床) ●太陽光発電や壁面緑化等により環境負荷軽減に配慮。 ●普通教室・保育室数は、中央と明正の2校・園分 	<ul style="list-style-type: none"> ●屋上プールは、プール使用期間以外は蓋がけをして運動スペースとして利用。 ●太陽光・風力発電や屋上緑化等により環境負荷軽減に配慮。 ●外観デザインは、旧校舎の意匠を継承するとともに、旧校舎竣工当時の壁面色を再現。 	

家族で空を見上げよう!

災害から身を守る 観天望気のすすめ

<プロフィール> 田代大輔(たしろ・だいすけ)さん
NPO法人気象キャスターネットワーク理事。気象予報士、防災士。平成7年財団法人日本気象協会に入り、平成10年からNHK担当の気象キャスターに、「首都圏ニュース845」「ニュース11」「NHKニュースおはよう日本の気象キャスター」などを担当。平成20年、NPO法人気象キャスターネットワーク事務局に職を移し、主に子ども向けのイベントや出前授業などの企画を担当。天気、防災、地球温暖化など幅広いテーマで講演を行う。



「天気予報ができるまで」では、アメダスや風向計、高層気象観測、気象衛星など、さまざまな気象の観測方法が紹介されました。また、天気予報の的中率について、近年になるほど天気予報の精度が高まっており、2009(平

関心を持つきっかけになる

九州地方の集中豪雨や茨城県の竜巻など、今までに経験したことがないような気象災害が相次いでいます。これらの災害がまだ記憶に新しい中、本テーマで開催したところ約100名の保護者や学校関係者の方々が集まり、田代さんの話に熱心に耳を傾けました。田代さんは、①天気予報ができるまで②雲を見よう③天気急変を事前に把握しよう④気象庁が発表するさまざまな情報——の4つのメニューを示し、写真や映像を交えて、わかりやすく説明されました。

田代さんからは、気象庁が発表しているさまざまな気象情報を紹介いただきました。そして、何よりも大切なことは、あらかじめ情報入手の方法を準備し

正しい気象情報のキャッチこそが、減災につながる

「雲を見よう」では、いわし雲、ひつじ雲、レンズ雲、積乱雲などの写真を見ながら、それぞれがどのようなときに見られるのか、説明がありました。さらに田代さんからは、家族みんなで空を見上げて、雲の様子などから天気を自分達で予想してみることが、楽しく天気を学ぶ第一歩になる、との提案がありました。3つめの「天気急変を事前に把握しよう」では、本年5月に発生した茨城県の竜巻や、4年前の神戸市・都賀川の増水が事例として紹介されました。田代さんは、夏休みに川へ出かける人へ向けて、天気予報をきちんとチェックすること、特に「大気の状態が不安定」という言葉に敏感になること、空を見上げ雲の状態を見ること、急に冷たい風が吹いてきたら天気急変の前兆であること、などの注意を呼びかけました。



グループワークでは、災害時の子どもたちの安全について活発な意見交換がされた。



身近な天気予報のことも新発見が多く、会場は盛り上がりを見せた。

どんぐりからの森づくり

—教育委員の檜原村視察—

5月21日(月)、教育委員全員で東京都西多摩郡の檜原村を訪問しました。

中央区は、平成18年10月に区の区域を超えた広域的な地球温暖化対策として、「中央区の森」事業を檜原村で開始しました。これまでに、区内の森林数カ所を「中央区の森」とし、区民の方にも参加いただきながら、CO₂の吸収源である森林の保全に取り組んでいます。

さらに、平成23年3月に「中央区の森ふれあい村構想」を策定し、森づくりへの区民参加と地域間の交流をより一層促進することを目指すとしました。

その一環として「どんぐりからの森づくり」がスタートします。

具体的には、村の森で採取したどんぐりを区で発芽させ、育てた苗木を再び山林に植樹し、実がなる広葉樹の森を再生していくという活動です。

その苗木の育成に区内小学校の児童が協力してまいります。この7月から、檜原小学校と平成16年度以来交流のある阪本小学校をはじめ、区内6小学校で苗木の育成が始まりました。2年後には、子どもたちに育てられた苗木が回収され、檜原村の森づくりに使われます。また、今年11月には、阪本小学校と檜原小学校の子どもたちが一緒に、次の苗木のためのどんぐり拾いを行います。

子どもたちには、森づくりにたくさんの時間と手間が欠かせないことを知ることで、失

てはならない地球環境の大切さを学んでもらいたいと思います。

村内の教育施設

教育施設として、まず、檜原小学校を訪問いたしました。

建物はコンクリート造りですが、内部の天井や壁などは、いたるところ木材が使用されています。教室内の児童の椅子・机もすべて木製です。体の成長に合わせて調整できる仕組みが付いており、小学校6年間使い続けるそうです。

吉野二巴校長先生は、「檜原小学校の子どもたちは、素直でおだやかな子が多いです。少人数で保育園からずっと一緒なので、互いに気心を知り合い仲がよいです。反面、外に出たときに消極的になってしまいうのではという不安がありました。が、阪本小学校との交流を続けてきたおかげで、最近は校外でも物怖じしないで活動できるようになってきました。など、学校の特徴や交流の話がされていました。

次に訪れたのは、平成19年に完成した檜原村立図書館です。

建物は木造で、内装はもちろん全面的に木が使われています。玄関から先は土足禁止で、手製の布草履の上履きに履き替えます。木の香りと柔らかな明かりに包まれたワンフロアの施設ですが、のびのびと本に親しめそうな気がしました。人口約2,600人の檜原村。地域特性を巧みに生かしながら、公共施設を整備し、地域の方に愛着を持ってご利用いただく工夫に関心いたしました。

※「どんぐり」にはいろいろな種類があります。ナメクシ、クヌギとかシイ、カシ、シイなど、図鑑で調べてみましょう。



体の成長に合わせて調整できる机と椅子



手製の布草履



教育委員の方々と檜原小学校吉野校長先生

檜原村立図書館

大人は「叱る」ことを恐れずに、 規律と感性を養う教育を。

本年11月に、教育委員の任期を満了する松川昭義さんに、4年間の思い出と教育に対するお考えをうかがってみました。

● 4年間で振り返ってみて、いかがですか。

私は、30年くらい子どもたちと一緒に剣道の稽古をしています。ですから、いろんな子どもに接する機会も多く、その姿をよく見ているのですが、まったく学校教育については素人でした。そもそも教育委員の話をいただいたときは、「教育委員って何?」というくらいだったのです。

そこで、教育委員に就任してからは、“現場主義”に徹しました。授業参観、公開授業、運動会、音楽会、研究発表会、その他の学校行事など、区内の小中学校のほとんどに顔を出しました。そこで、やはり剣道をしているせいでしょうか、「規律」が気になりました。授業の始まりと終わりの礼、先生の子どもに接する態度、生徒の授業を受ける態度、教室の整理整頓などです。

私が思うに、規律の正しさは、先生によるところが大きいですね。例えば、子どもが騒いでいるのに先生が叱らなければ、規律を保つのは難しいでしょう。最近は叱らない先生が増えたといいますが、「叱る」は教育ですから、先生は自分に自信を持って、子どもが悪いことをしたら、きちんと叱ってほしいと思います。

● その他、現在の学校の在り方についてのお考えを教えてください。

学校は子どもの学びの場のみならず、地域コミュニティの核だったり、防災拠点だったりするので、もっとオープンにしてもいいのではないのでしょうか。もちろん、出入りを自由にすることで、新たなチェック体制が必要といった問題が発生するでしょう。そうしたら、みんなで悩んだり、相談したりすればいいのです。もっともっと、大人たちは話し合うべきです。

今の学校は、あれもいけない、これもいけないと児童・生徒への安全面を強調するあまり「危ない」を排除する傾向に

<プロフィール>
中央区立明石小学校・文海中学校の卒業生。平成20年12月1日から教育委員就任。平成24年11月30日で4年間の任期を迎える。現在中央区少年少女剣道教室指導員、京橋スポーツ少年団「剣道」団長を務める（剣道錬士六段）。



あると思います。そういう状態では、子どもの危険を察知する力が育たないのでは?と心配になります。子どものうちに少々危ないことを体験してこそ、危険に対する感性が育つのではないのでしょうか。

● 特に印象に残っている出来事をあげてください。

教育委員長のときに、明石小学校、中央小学校の改築問題がありました。両校の改築問題はマスコミにも取り上げられて、話題になりました。私自身、明石小学校は母校ですし、中央小学校は地元です。関係者の方にも知り合いがいましたので、複雑な心境でした。このときは、中央区の方たちの、子どもを、そして地域を愛する気持ちをしみじみと感じました。

また、3.11の時には、学校長・職員が率先して、徹夜で帰宅困難者に対応してくれたことが印象的でした。

● 最後に「かがやき」読者の皆さんへメッセージを。

「学校、家庭、地域が一体になって子どもの教育を」というようなことを耳にしますが、今、地域や家庭のつながりや絆が大きく変わってきています。その結果、すべて学校が抱えることになってしまったら、学校は大変です。学校とは、学力を養い、勉強を通して社会性を身に付けるところです。本来、地域で担っていたこと、家庭で担っていたことを、元の場所に戻す努力が必要でしょう。

中央区には、長い歴史に培われた昔ながらのコミュニティが残っていると思います。何も教育に限ったことではなく、地域振興、福祉など、地域コミュニティが活躍しなければいけない場はたくさんあります。何代も続いている住民と新しく中央区のメンバーになった住民がともに手を取り合って、これからの中央区をつくっていききたいですね。

教育委員の主な活動状況

- ◆第5回定例会および研修会（平成24年5月9日）
- ◆中央区民カレッジ入学式（平成24年5月10日） *日本橋公会堂
- ◆PTA連合会定期総会（平成24年5月14日） *銀座プロッサム
- ◆教育委員会管外視察（平成24年5月21日） *東京都檜原村視察
- ◆第6回定例会および研修会（平成24年6月6日）
- ◆PTA連合会新旧理事等懇談会（平成24年6月12日） *銀座プロッサム
- ◆中央区教育会総会（平成24年6月20日） *日本橋公会堂
- ◆第7回定例会および研修会（平成24年7月5日） *中央小幼・明石小幼の視察
- ◆学校保健会定期総会（平成24年7月12日） *教育センター
- ◆中央区子ども環境サミット2012（平成24年7月14日） *銀座プロッサムホール
- ◆教育委員と学校評議員との意見交換会（平成24年7月19日） *月島第二小学校・幼稚園
- ◆中学生海外体験学習出発式（平成24年7月26日）
- ◆区長と教育を語る会（平成24年8月2日） *銀座プロッサム
- ◆中学生海外体験学習生徒報告会（平成24年8月7日） *教育センター
- ◆第8回定例会および研修会（平成24年8月8日）
- ◆交通安全対策協議会（平成24年8月29日）
- ◆第9回定例会および研修会（平成24年9月4日）
- ◆子どもたちの人権メッセージ発表会（平成24年9月15日） *銀座プロッサムホール

見て、聞いて、感じる... 第7回まちかど教育委員会開催

7月19日（木）教育委員と学校評議員との意見交換会（まちかど教育委員会）を開催しました。今回は月島第二小学校・幼稚園が会場です。

茂呂校長・太田園長先生をはじめ先生方から、今年度の学校・園経営方針の説明や主な行事予定と一学期の活動の様子について報告がありました。

引き続きの意見交換会では、「地域との関係が希薄になり、学校の子どもたちに地域の目がゆき届いていない。100年の歴史を取り入れつつ、地域との交流をもっと深めてほしい。」「小学校・幼稚園も、もっと積極的に地域に関わってほしい。」など子供達と地域との関わりについて質問や意見が交わされました。

「まちかど教育委員会」も7回目となり、改めて学校や地域の声を直に聴かせていただく事の大切さを感じました。



節電うちわ いただきました。

7月13日（金）、昨年に引き続き、東京都印刷工業組合京橋支部・日本橋支部から「節電うちわ」を区立全小・中学校の児童・生徒に提供していただき、明石小学校と久松小学校で贈呈式が行われました。

これを機に、節電への取り組みがさらに進みました。



明石小学校



久松小学校

～いじめなど、困ったときの相談は...～

お子さん自身が、または、お子さんのことで困ったり 悩んだりしていることはありませんか？

●中央区立教育センター 教育相談室

（中央区明石町12-1）
教育相談員が、幼児から高校生までのお子さんについての様々な相談に応じています。

◎相談日/毎週月～土曜日、午前9時～午後5時

☎電話相談 ☎3545-9203

☎来所相談 ☎3545-9200

事前に電話で予約してください。

●東京都いじめ相談ホットライン

幼児から高校生相当年齢の方を対象に、いじめに関するご相談に24時間対応に応じています。

☎5800-8288

●24時間いじめ相談ダイヤル（全国統一ダイヤル）

全国どこからでも、夜間・休日を含めて24時間対応で相談に応じています。

☎0570-0-78310（なやみ言おう）

来春、中学校一年生になるみなさんへ

中学校自由選択制のご案内

- **対象** 区内在住の平成25年4月に区立中学校に入学予定の児童
- **選択できる範囲** 区立中学校4校から選択できます。ただし、選択できる学校は1校のみです。
- **受入れ人数** 各学校とも、概ね四十人
- **抽選** 受入れ人数を超える申込みがあった場合は、抽選を行うことがあります。当選しなかった方は、通学区域の指定校への入学となります。
- **申込み方法** 平成24年10月26日(金)までに、次の方法によりお申込みください。なお、通学区域の指定校に入学する方は、申込み手続きは必要ありません。
- **区立小学校に就学されている方** 9月下旬に小学校を通じて申込書等を配布します。選択を希望する場合は、通学している小学校に申込書を提出してください。
- **区立小学校に就学されていない方** 申込書等を直接ご自宅に郵送します。選択を希望する場合は学務課へ提出してください。
- **学校情報の提供** 学校説明会等を、下表のとおり各中学校で実施します。その他の日でも見学は可能ですので、直接学校にお問合せください。

学校説明会等の日程	銀座中学校 ☎(3545)8011	◇学校説明会 ◆学校公開	10月13日(土) 同日	午前11:00～ 午前8:45～
	佃中学校 ☎(3531)7214	◇学校説明会 ◆学校公開	第1回 9月29日(土) 第2回 10月13日(土) 10月13日(土)	午前10:30～ 午前10:30～ 午前8:45～午後3:00
	晴海中学校 ☎(3531)6308	◇学校説明会 ◆学校公開	第1回 10月6日(土) 第2回 10月13日(土) 10月13日(土)	午前10:30～ 午後1:00～ 午前8:45～11:35
	日本橋中学校 ☎(3851)4074	◇学校説明会 ◆学校公開	第1回 9月21日(金) 第2回 10月13日(土) 10月9日(火)～13日(土) ※第二回学校公開週間にあたります。	午後2:30～ 午後1:00～ 午前8:30～午後3:20 10月13日(土)は午前11:35まで

問合せ先 学務課学事係 ☎(3546)5514

子育てまっ最中のみなさんを応援します! ~家庭教育学習会のお知らせ~

中央区地域家庭教育推進協議会では、地域全体で子育て活動を支援するために、学校・幼稚園PTAや子育てサークル等と共催で家庭教育学習会を行っています。学習会の情報は本紙のほか、「区のおしらせ中央」や学校等を通じて配布する「家庭教育学習会のおしらせ」にも掲載しますので、是非ともご参加ください。子育てまっ最中の方をはじめ、地域での子育てに関心のある方の参加をお待ちしています。

日時	会議・対象・定員	テーマ・講師	費用	共催団体等
10月27日(土) 午前10時30分～正午	日本橋図書館 6階ホール 親子(幼児と保護者) ※申込み不要 直接会場へお越しください。	「おはなし会と懇談会」 昔話を中心に手あそび・パネルシアターなど肉声でおはなしを聞く楽しさを体験します。 講師 尾松純子 氏(おはなし夢代表)	無料	どんぐりのおはなし会
11月3日(祝) 4日(日) 午前10時～午後5時	アートはるみ ギャラリー 親子(幼児～小学生と保護者) ※申込み不要 直接会場へお越しください。	中央区まるごとミュージアム企画 「アートはるみでサイエンス ～よう あそぼう かがくのほん～」 ☆科学絵本の展覧会 ☆科学屋台(科学体験コーナー) ☆読み聞かせなど、様々な企画を予定しています。	無料	「アートはるみみんなの広場」実行委員会
11月3日(祝) ①午前10時30分～11時30分 ②午後1時30分～2時30分	アートはるみ ギャラリー ①未就学児と保護者 定員25組 ②小学生と保護者 定員25組 ※申込み締切10月5日(金) ※申込多数の場合抽選	中央区まるごとミュージアム企画 サイエンスワークショップ 「さかさパンダがやってくる! ペットボトルで空気砲」 講師:さかさパンダ(科学の本の読み聞かせの会「ほんとはんと」)	無料	
11月9日(金) 午後2時00分～午後4時00分	築地社会教育会館 幼児・小学生の保護者 定員28名 ※申込み締切10月31日(水) 託児2歳6か月以上の未就学児(要申込み) ※申込多数の場合抽選	「骨太家族にならましよう! ~築地のプロと青魚を使った栄養満点の料理をつくらう。ひと工夫で骨太家族～」 魚のプロ築地仲卸人ならではの調理や栄養師などのアドバイスを取り入れながら子育てに役立つ食文化を学びます。	材料費500円	築地市場特種物産会青年会
11月10日(土) 午後1時30分～3時00分	月島社会教育会館 4階ホール 親子(2-3歳児～小学生の保護者) ※申込み不要 直接会場へお越しください。	「シニアが応援!みんなで楽しむおはなし会」 読み聞かせ、紙芝居、劇、手あそびやわらべ歌などを親子で楽しめます。	無料	りぷりんと・中央区

申込・問合せ先 中央区地域家庭教育推進協議会(事務局 区民部文化・生涯学習課内) ☎(3546)5526 平日9:00～17:00

小学校特認校制度の申請について

- **対象** 区内在住の平成25年4月に小学校1学年になる児童
- **就学の条件** 児童の保護者が、就学を希望する特認校の教育方針に賛同すること
児童が、特認校に自力で通学できること
原則として、児童は特認校に卒業まで通学すること
- **申請手続の方法** 希望する特認校の学校説明会に必ず参加して、その際に発行される「説明会参加済証」と対象者のご家庭に7月末にお送りした「特認校就学申請書」を持参して、区役所6階学務課で申請してください。
- **申請期間** 平成24年10月1日(月)～10月26日(金)
- **申請結果の通知** 11月上旬に申請結果を通知します。
受け入れ人数を超える申請があった場合には抽選を行います。実施日時などは別途対象の方へお知らせします。
- **補欠登録** 抽選の結果、補欠となった場合は、辞退者が生じた時にその登録順位に従い繰上げ当選とします。

補欠登録は12月20日(木)までです。この間に繰上げ当選とならなかった場合は、通学区域の学校に入学することになります。
ただし、この時点でまだ受入れ可能な特認校がある場合は、再度申請することもできます(この場合も、希望校の説明を受ける必要があります)
● **特認校選択の注意点**
・申請書提出した後の変更はできませんので、慎重に検討し、学校の校風や教育方針を十分理解したうえで申請してください。
・区立小学校では、自転車での通学を禁止しています。お子さんの通学の安全や通学距離等にも配慮しながら保護者の責任で判断してください。
● **学校情報の提供**
別表のとおり、特認校の各校で学校公開を行っています。公開日以外でも見学は可能ですので各学校にお問合せください。
このほか、各学校のホームページでも随時情報を提供していますので活用してください。
また、通学区域の学校(指定校)でも学校公開などを行っています。対象者の方にお送りした「中央区立小学校案内」に学校公開日掲載していますので、教育方針や特色ある教育活動など、入学する前に学校を見る良い機会ですので積極的に参加してください。
● **個別の事情がある方へ**
兄弟が指定校変更により在学している学校を希望するなどの事情がある場合、指定校変更の申請により、特認校制度による申請者より優先して就学できますので、学務課へご相談ください。
*指定校変更の申請受付期間
平成24年9月18日(火)～10月5日(金)

問合せ先 学務課学事係 ☎(3546)5512～5514

別表 平成25年度特認校の学校説明会などの日程

平成25年度特認校	所在地 電話番号	学校説明会開催日程 ※申請される場合はご参加ください。	学校公開の開催日程
城東小学校	八重洲2-2-2 ☎(3281)0401	9月20日(木)午後3時～	9月8(土)午前8時30分～ 学校公開・家庭教育学級 9月30日(日)午前9時～ 運動会 10月16日(火)午前8時30分～ 学校公開・学校保健委員会
泰明小学校	銀座5-1-13 ☎(3571)1765	9月15日(土)午前8時40分～ 9月21日(金)午後3時30分～	9月15日(土)午前9時20分～ 学校公開 10月7日(日)午前8時40分～ 運動会
常盤小学校	日本橋本石町4-4-26 ☎(3241)1910	9月8日(土)午前10時～ 9月27日(木)午前10時～ 10月13日(土)午後1時～	10月13日(土)午前8時30分～ 学校公開
阪本小学校	日本橋兜町15-18 ☎(3666)0044	9月22日(土)午後2時～ 10月13日(土)午後2時～	9月22日(土)午前8時30分～ 道徳授業地区公開講座 10月10日(水)～16日(火)午前8時30分～ 授業参観[学校公開週間(14日(日)を除く) ※13日(土)は伝統文化理解教室